

活動ノート



6月10日(日)

アカマツ林整備(草刈り、除伐)
13:00~15:00

◆参加者: 林、榊、鎌田、静間、大田原、池田、高木、篠原、迫(盛)、新牛込、小川R 計11名



◆内容: 作業内容、役割分担、安全等のミーティングの後、道具の用意をして、炭焼き窯前で体操の上、A地区堆肥ヤード奥の作業地に向かい、草刈り、除伐を開始しました。除伐は、小木のみが対象だったので、伐る気満々のメンバーによって、あっという間に作業完了、明るい森になりました。また、草刈りは、以前通り道だった場所で行い、通れなくなっていた道が再び通れるようになりました。蒸し暑かったですが、休憩をとりながら怪我もなく終えました。最後に振り返りを行い、(1)堆肥ヤード奥は今迄あまり手入れしていなかったが、両サイドの尾根沿いに9本の立派なアカマツが有るので、今後は適宜草刈り、除伐等を行う。(2)作業地で出た草、木、葉等の処理に斜面を利用したヤードを今秋にでも作成する。(3)実生からのアカマツ幼木が見受けられるので、見守って育てていく。の3点を確認、共有しました。

【ふりかえりより】

- ・暑い中、斜面もあったが、草刈りで明るくなって良かった(榊)
- ・虫の羽音が気にならなくなるまで時間がかかりますが草刈り楽しいです(高木)

6月30日(土)

カブトムシの森作業(草刈り)
9:45~15:00

◆参加者: 松雪、中嶋、迫(盛)、岩尾、篠原、新牛込(誠)(寛)(清)、榊、鎌田(隆)(麗)、富永 計12名



◆内容: まずは、レクチャールームで作業計画説明、安全確認等を行い、センター前で体操を行った後、今日最初の作業場であるカブトムシの森(B・C地区)へ向かいました。現地到着後、2~4名ずつの3班に別れて作業を始めました。かなり蒸し暑い日で熱中症が心配されたので、安全世話役に20~30分おきに笛の合図をして貰って、確実に給水をしてもらいました。おかげで体調不良者も出ず最後まで作業を進めることができました。

全員シャワーを浴びたような汗をかきながらの作業となりましたが、午前中でほぼ予定通り、遊歩道沿いの草刈りを終えるこ

とが出来ました。昼食後も何とか天気も持ちそうでしたので、草(特にイタドリ)の繁茂が著しかったA地区全体の草刈りに着手しました。ただ、範囲が広いことから、これまでと違って刈った草はそのまま現地に残すこととし、ヤードへの搬出は行いませんでした。結果的にはこれが効を奏し、A地区全体の草刈りを終えることができ、また景観上もそれほど問題はありませんでした。

以上のように、作業自体は問題なく進みましたが、地バチやアシナガバチ、ヒメスズメバチ等の活動が活発で、1人が刺されてしまいました。しかし、皆さんがお互い注意しながら作業を進めてもらったことにより、大きな事故につながらなくて良かったと思います。

作業中にムカシヤンマやジャコウアゲハの幼虫、実生のネムノキやクヌギなど、これまで以上にいろいろな生物を見ることができ、棲家づくりの効果も徐々に出て来つつあるようです。

【ふりかえりより】

- ・たくさん汗をかきました。(新牛込清)
- ・毛虫が沢山見られて良かったです。(鎌田隆)

7月14日(土)~15日(日)
甲虫調査

◆参加者: 鎌田、富永、川上、静間、大田原、池田、吉田、宮田(公)(宏)(陽)(啓)、新牛込(誠)(寛)(清)、小川R



＜特別講師＞小藤先生、伊東先生
＜体験参加＞白川(里)(和)(衛)、
島谷(朋)(玲) 計22名

◆**内容**：1日目は世話役が集合しての準備段階から時折豪雨が降るあいにくの状況でした。講師の小藤先生と相談し、予定を変更してカブ森の観察小屋でのライトトラップ調査をあきらめ、センターのレクチャールームで調査を行うことになりました。

レクチャールームに集合後はまず夕食。女性陣の活躍でテキパキ？と準備がすすみました。メニューはホットプレートを使っての焼肉、バーベキューで、ほぼ完食でした。

続いて、ライトトラップ調査にあたって、小藤先生から「蛾」についてレクチャーを受けました。蛾と蝶の見分け方など貴重なお話をいただきました。

ライトトラップ調査では、時間帯毎に集まる昆虫の同定(種類の特定)とカウントに1人1種類で挑戦しましたが・・・皆さん知識欲旺盛で報告はどこへやら、ひたすらトラップ前での観察や採集に没頭していました。その後宿泊組は子供連れがボランティアルーム、男性はレクチャールームに宿泊しましたが、男性の多くは未明まで、先生は徹夜で調査していました。

2日目は早朝の強風のため予定していたライトトラップが中止となり、豚汁とおにぎりで朝食



後にカブ森散策となりました。朝特有の羽化直後のセミの観察などができましたが、直前の豪雨と強風の影響で甲虫は少なめでした。

その後、通例の甲虫調査を行いました。トラップ回収時は、子供たちが目を輝かせて集まってきて、我が我がとお手伝いをたくさんしてくれました。回収後もワイワイガヤガヤと楽しい同定とカウント作業になりました。

【ふりかえりより】

・最高の贅沢で非常楽しかったです。(池田)

・お腹がすきましたが、とても楽しかったです(新牛込寛)

7月29日(日)

木工教室

10:00～15:00

◆**参加者**：鎌田、徳光、川上、林、新牛込(寛)(清)、篠原、榊、羽迫、宮田(公)(陽)(啓)、樋口(利)(友) 計14名

◆**内容**：今日は、一日かけて3作品を作りました。午前はいーゼルとバードコールで、午後はカード立てを作りました。まず、作業の流れを説明して、簡単な体操を実施し、道具出しを行いました。ブルーシートを前面に敷き、奥と窓側に別れて、イーゼルとバードコールを作りました。

バードコールは作ったことのある会員にも指導の手伝いをしてもらいました。今回は6mmの

ネジと12mmのボルトを使い、2種類作りました。

＜作り方＞

ーバードコール小ー①ドリルで5mmのビットで縦に穴を4cmぐらい開ける。②ドリルで首に下げる紐を通す穴を開ける。③摘みの部分をノコギリで切る。④胴体部分をノコギリで切る。⑤摘み部分にネジを根元までねじ込む⑥胴体にネジをねじ込む。

ーバードコール大ー①ドリルで12mmの木工用ビットで縦に穴を4cmぐらい開ける。②12mmのボルトをネジ込む。

ーイーゼルー①作る大きさを決めて、三脚になる同じ長さの枝を3本を作る。②3本の頭に穴を開け、紐を通して3本を結ぶ。③表になる向きを決めて、飾る額を載せる台(枝)を突っ込む穴を開ける。小枝をこの穴に差し込む。④額を載せる前の枝をつなぐ枝を切り、幅を決めて、紐で巻き結び固定する。⑤④の枝と後ろの控えの棒を固定する紐の輪を作る。

ーカード立てー①枝の表面を眺めながら、表を決め、顔の長さと目、鼻、口の位置を決める。②カードを立てる溝を頭になる上を縦にノコギリで切り込み。深さは立てるカード、写真に合わせて決める。③目、鼻に穴を開ける。④口をノコギリで作る。⑤切り離す。⑥鼻になる小枝を差し込む。

【ふりかえりより】

・出来上がったバードコールはそ



れぞれ違った鳴き声となり楽しい時間となりました。（徳光）

8月5日（日）

カブトムシの森作業（草刈り）、
カブトムシの森ミーティング
10:00～15:00

◆参加者：林、池田、松雪、中嶋、
安部、吉田、富永、鎌田、菊池（潤）、
菊池（泰）、新牛込（寛）（清）、
静間、川口（体験）計14名

◆内容：いつものようにセンター前で準備運動をしてC地区東屋へいきました。ここに荷物を置いて、午後のミーティングに備えてカブ森散策をして、現状の確認をしました。

その後、甲虫調査班5名はトラップ回収、草刈り班9名はA地区とC地区の草刈りをしました。甲虫調査班は、カブ森C地区の1番トラップから、ホイホイトラップとピットフォールトラップを12個ずつ、回収をしました。今回はコガタスズメバチを見かけた位で、オオスズメバチなど危険度の大きなものには遭遇ませんでした。ホイホイトラップの取り付け方に工夫したこと、仕掛けた期間の天気良かったことから、さまざまな甲虫類が元気な状態でたくさん入っていました。

草刈りは前回作業があった6月30日から36日目でしたが、思ったより繁っていなかったのと、作業時間が正味1時間ほどだったので、C地区は斜面の北半分、



A地区は湿地周辺とクヌギ林内で重点的に作業しました。

お昼休憩をはさんで午後からは草刈班も合同で、全員が3班に分かれて同定作業をしました。前回は全員でやったのですが、今回初めて体験する人もいて、強烈的な匂いにたじろぎながらも、初めて見る甲虫類と格闘していました。

14時から全員でカブ森ミーティングをしました。現状と今後の整備予定について、以前作成した整備イメージを見ながら意見交換などをしました。ほぼ計画に従って整備してきているものの、まだまだ除伐対象が多かったり、萌芽更新するクヌギも本数が多いので、現在のペースではとても目標達成できないばかりか、その間にますます木が成長して伐採が難しくなることを確認しました。

特にA地区での萌芽更新は樹齢を考えると今がリミットと思われるものの、公園管理の点からの要望もあろうことから、今後整備方針についてセンターと協議していく必要があるということになりました。

【ふりかえりより】

・カマが良く切れて気持ち良く作業ができました。（吉田）

8月19日（日）

救急・安全講習

10:00～15:00

◆参加者：迫（盛）、松雪、鎌田、
川上、静間、岩尾、大田原、樋口
（利）（友）・百田（午前のみ）、
榊 計11名

◆内容：午前の講習は、救急隊員の権藤さんにお越し頂いて、救命入門コースのメニューを中心に



応急手当（救命処置）について講義と実習をしました。最初に救命の連鎖（救命のリレー）についてDVDを見て学びました。

続いて、心肺蘇生法についてボディー2体を使って、胸骨圧迫・AEDの使用法などを楽しく実習しました。

質疑応答で、脳卒中、止血法、異物除去法、熱中症への予防と対応などについて、突然死を防ぐにはという観点からのお話を伺いました。救命処置の知識と技術、「自分でやろうとする意欲で接する事」が、人命救出につながるとのことでした。

午後からは、暑い中での作業となるので、活動時間を1時間10分位と決めてアカマツ林に向かいました。テーマは足場の悪い場所での架かり木を避けた安全な伐倒。曲がってヤマボウシに枝がかかったクロキを、ロープで伐倒方向を修正しつつ、ヤマボウシを傷つけないよう安全に切り倒すことに挑戦しました。

別に遊歩道沿いの草刈作業を同時にしたので、伐木は少人数でしたが目的の方向へ倒すことが出来ました、後の処理は谷の土留めになるようにして作業の量を少なくしました。

【ふりかえりより】

・「心臓停止後3分で、人の脳は滅びる」との言葉を聞き、講義に熱が入りました。（岩尾）